

川東の里だより

No.102

2018
11



「ハンドメイドクラブ」

以前は「刺し子クラブ」として布きん作りをしていました皆さん。今ではティッシュケースや巾着袋を作れるまでに上達しました。

作品展で展示する際には、ぜひお近くでご覧になってください。





生きるためのライフライン（命綱）

社会福祉法人川東の里

人川東の里

しが急務になつています。平成二十三年三月十一日の東日本大震災では、福祉施設にも大きな被害があり、また、東日本大震災以降も台風や記録的降雨による土砂災害など多くの災害が発生していまます。

遭いわで尊い命を亡くされた方々に心よりお見舞いを申し上げます。今回の地震は北海道全体が停電(プラックアウト)、被災地の一部で断水と、あらためてライフラインの一部が必要性(有難さ)が身に染みて考えさせられました時でもあります。ただ被災地を始めた時です。余震に不安の中になります。このように多くの災害を想定して、おいであります。感定したのは準備がいいつで何時あることを痛感されることは、必ずやります。北見市においても、平成十六年春から、震度五等

社会福祉法人 川東の里

川東の里職員体制

施設長・管理者

參
事
皆
川
和
雄

きたみ学園支援課

課長正藤嗣巳

川東学園支援課

課長橋爪美和子

友樂里・風樂里支援課

課長橋本厚子

フレンズ・豆ちゃん支援課

課長菅野理恵

むぎわら・緋牛内事業所支援課

課長坂和人

地域生活支援センターあさひ45

所長柴山小百八

グループホーム支援課

課
長
串
崎

総合相談支援センター

所長天羽

第三者委員

委員長

菅大白
橋石伸
久美惠
男通

生産フェア・虹色フェスティバルを終えて

実行委員 小栗優二

九月三十日、あさひ45にて、

川東の里恒例の「生産フェア」と網走管内知的障がい福祉協会「虹色フェスティバル」が合同で開催されました。

前日まで台風の影響を心配していましたが、当日は朝から晴天に恵まれ無事に終えることが出来ました。

北見市保健福祉部長による来賓挨拶から始まり、様々なイベントや生産物の販売、ゲームが行われました。川東の里の生産物販売では、フレンズ製品・野菜・パン・椎茸・豆腐等。そして、虹色フェスティバルのブースでは、管内の各事業所の生産物が販売され、沢山のお客様にお買い求め頂きました。

毎年恒例の、川東の里生産フェアの名物、「豚レース」では、豪華景品を巡つて小さなお子様から大人まで大勢の方で大変な盛り上がりを見せていました。

た。

また、今年度は、カントリー・ウエスタンバンド「ブロンコス」にお越しいただき、約一時間の生演奏で、会場を大いに盛り上げて頂きました。最後の「もちまき」では、もちと一緒に子供用のお菓子もまき、お子様から大人までの手に届き、沢山の笑顔と笑い声に会場が包まれていきました。

最後になりますが、きたみ学園・川東学園の両父母会の皆さんに当日のお手伝いを頂きまして無事に終えることができ、本当に有難うございました。

また、網走管内の各事業所の皆様にも、遠方より参加頂き感謝致します。来年度も、地域の皆様に還元できる貴重な機会として取り組んでいきたいと思いますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。



川東学園親子レクレーション

川東学園 支援員 池上理瑚

十月六日(土)川東

の里本館体育館で親子
レクレーションを行いました。

今年度でなんと、第

四回目の親子レクレー
ションでした。

競技の前には代表して
四名の方が前に出てラ
ジオ体操を行ってくれ
ました。

競技は、動く玉入れ・
魚釣りゲーム・お菓子
取り競争・大玉転がし・
ラッキーカラー・選抜
リレーの計5競技を実
施しました。

レクレーションでは、

赤組と白組に分かれ普
段口数が少ない利用者
の方もともに元気な声を
上げて競技に挑んでいま
した。

みなさん、自分で獲

得した飲み物やおやつ
を汗をかきながら、嬉
しそうに食べており、
達成感を味わっていました。

結果は、最後の選抜
リレーで赤組が勝ち、
それまで白組がリード
していましたが一点差
で赤組の優勝となり、
とても盛り上がりまし
た！

今年度の優勝は赤組
でしたが、白組のみな
さんもとても頑張って
いました。

今年度もとても頑張つ
ておられた。来年度の参加もよ
ろしくお願ひ致します。



さかな釣り



リレー



ボール転がし



ラジオ
体操



開会式



お菓子取り

「きたみ学園親子運動会」

きたみ学園成人部 支援員 小池直喜

天高く馬(や)る秋。オホーツクの大地も秋の恵み、農作物の収穫も最盛期を迎えた、当園の両々の来道もありました。川東の里またみ学園でも親子運動会が隣接の北見支援学校のグラウンドにて実施の運びなり無事取り行かれました。

前年までは七月開催で猛暑の中ごも実施の日もありましたが本年は十月開催となり当協力団を併せて来賓の北見支援学校教頭、理事長、副理事長の皆様に出席頂きました。お忙しい中お越しいただきありがとうございました。

本年は新しい利用者さん以西祥悟さんも四月から入所され、福本一美さんと一緒に選手宣誓により声高らかに父兄見守る中開催を宣言され、皆電気掲々ラジオ体操で体をきくつかりの競技開始となりました。

第一競技の大玉滾(ころがし)は、旗門不通過もなく赤組優勢ひ)ンカーの福本さん山市さんほ余裕こ笑顔のゴールでした。

天高く馬(や)る秋。オホーツクの大地も秋の恵み、農作物の収穫も最盛期を迎えた、当園の両々の来道もありました。川東の里またみ学園でも親子運動会が隣接の北見支援学校のグラウンドにて実施の運びなり無事取り行かれました。

前年までは七月開催で猛暑の中ごも実施の日もありましたが本年は十月開催となり当協力団を併せて来賓の北見支援学校教頭、理事長、副理事長の皆様に出席頂きました。お忙しい中お越しいただきありがとうございました。

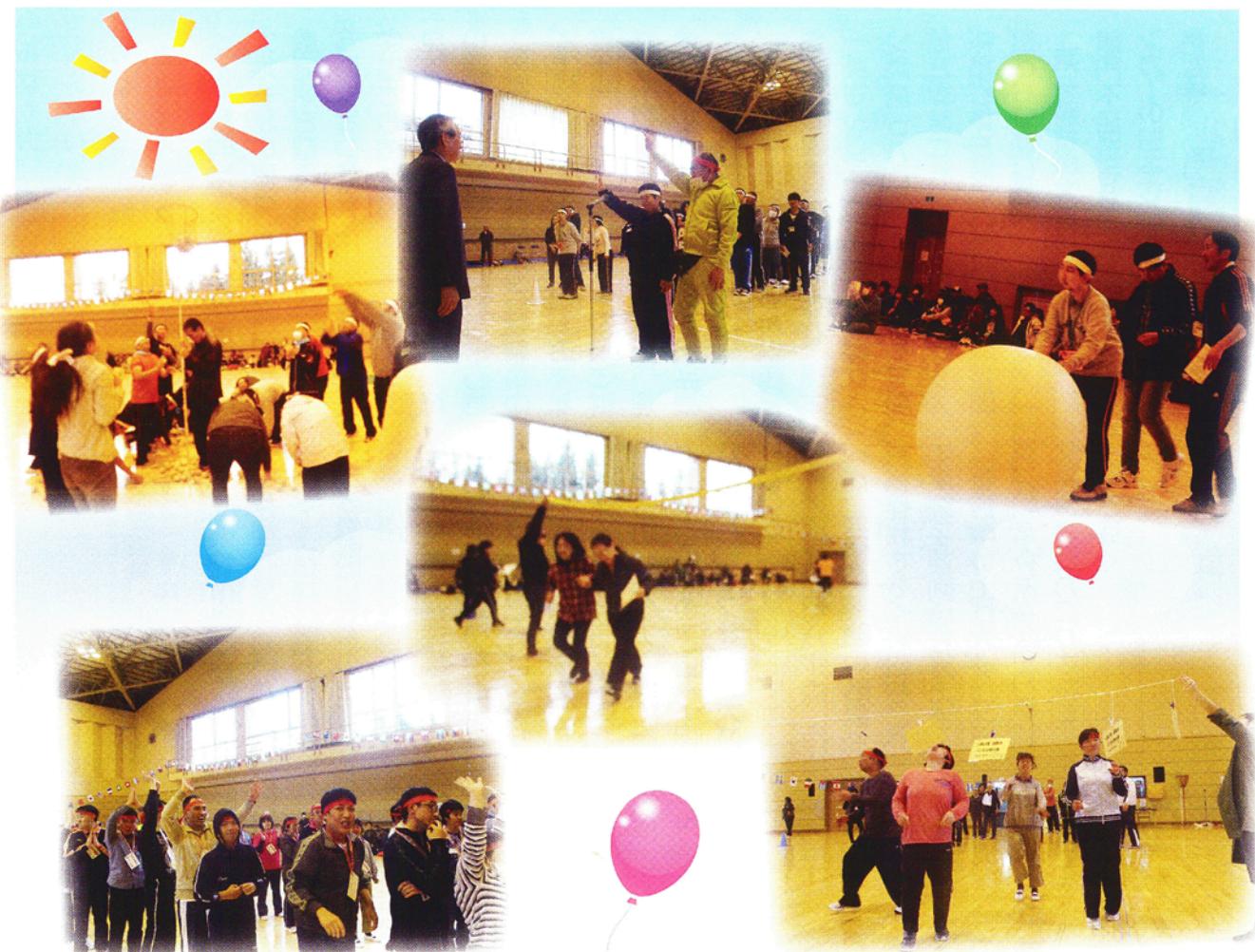
本年は新しい利用者さん以西祥悟さんも四月から入所され、福本一美さんと一緒に選手宣誓により声高らかに父兄見守る中開催を宣言され、皆電気掲々ラジオ体操で体をきくつかりの競技開始となりました。

第一競技のパン食い競争では、皆手を使わず正面にパンに喰いつきジースと共に園裏のフレンズパンを堪能されました。競技は父兄参加の汽車まつり、ラッキーカラーレース、児童徒走と続き終始なげやかな雰囲気の中進みました。

最後は一回に分けてのフレーザ技で一回目は赤組勝利。二回目は白組勝利がと皆が固唾を飲んで見守る中、白のアンカー福士さんが転倒し、赤のアンカー福本さんが逆転のターブを切り大盛り上がりこした。

最終成績赤組八十点、白組六十一点、赤組の優勝の結果でしたが、皆様怪我もなく終始なげやかに本年度親子運動会を終えました。ご報告申し上げます。又当日のボランティアへの協力準備へのご協力に感謝お礼申上げます。





運動会を終えじ

実行委員 政野 豊

十一月十日に通所事業所合同親子運動会を開催いたしました。

毎年、約100名程の通所利用者が参加し、熱い戦いを繰り広げている運動会。今年は一体どんな戦いを見せてくれたのでした。

選手宣誓で選手の皆さんのがんばり引き綱あり、競技が始まりました。

大玉運びでは、両者一步も譲らない戦いめぐらました。来場父母・ご家族を対象とした借り人競争では、父母・ご家族の皆さんのがんばりがうなづいていました。

やつし、玉入れ、あやつ取り競争、旗渡し競争と競技を行ない、最後に残すは団体競技のお玉りレー。

なんどこの時点ひ赤と白の得点は全く一緒。

この競技で勝ったチームが優勝となり、玉入れ、あやつ取り競争、旗渡し競争と競技を行ない、最後に残すは団体競技のお玉りレー。

ご参加いただいたご家族の皆様、また、お手伝いしていただき、父兄の皆様、誠にありがとうございました。大きな怪我もなく無事に運動会を終えられたがごときがございました。紙面を借りまじて御礼申し上げたいと思ふゆえ。

最後のリレーもお互いに抜かれては抜き返し、一位は絶対に渡さないといの気迫を感じられる走りをひいてました。

そりで、最初にゴールテープを切ったのは、赤組です。僅差で赤組が先にゴールしました。この瞬間、赤組の優勝が決まりました。

惜しくも負けた、白組も素晴らしい走りをひいてました。

表彰を受けた後の両チームの選手の皆様は運動会が終わり、とてもいい笑顔をつけておりました。

最後になつあが、あたひに中じた。

この参加して下せたご家族の皆様、また、お手伝いしていただき、父兄の皆様、誠にありがとうございました。大きな怪我もなく無事に運動会を終えられたがごときがございました。紙面を借りまじて御礼申し上げたいと思ふゆえ。

新職員紹介

私はまたみ学園に来るまで
に介護施設や放課後等ディ
サービスなど複数の施設での
経験をしてきました。川東の
里でお世話になると決まって
からはある経験などから、利
用者さんには、こうなってほ
しい。こう関わっていきたい。
そんな気持ちでいました。し
かし新人として働き始めてす
ぐに大事だと感じた事は一人
ひとりを理解することです。
半年経ちましたが未だにきた
み学園の利用者さん全員を理
解する事は出来ていません。
利用者さんと関わらない業務
も覚える事がたくさんあります
が、まずは利用者さんとの
関係性を深め理解を深める事
に努力しています。まだまだ
先輩職員さん達と利用者さん
の関係には追い付けてはいま
せんが積極的に関わっていき
自らが思い描く理想に近付け
るよう頑張りたいです。



きたみ学園
森谷 明弘

私が4月から始めたみ学校で働くようになります。早いもので半年が過ぎようとしています。この半年間は毎日があつて、いろいろな経験をしてきました。4月に働き始めた頃は、仕事を覚えることに精一杯で、利用者の方々と一緒に上手くコミュニケーションをとることでできました。ですが、働くにつれて利用者さん一人ひとりと関わる機会が増えていき、そして利用者さん一人ひとりの個性や性格を理解し、その方にあつたたがり方でコミュニケーションをとることで、少しづつ信頼関係を築いていくことを実感でき、とてもやりがいのある仕事だと実感できます。

また、ドライブや誕生日会といった行事を利用者の方が心待ちにしていることが感じられました。行事の予定を揭示するとすぐに利用者の方が確認、「これ」と私も嬉しそうに話しかけてきたり、行事が終わってから後は、楽しそうに思い出話を聞かせてくれたりしました。その嬉しそうな顔を見ることができます。私も私も嬉しく思います。

私はまだまだ経験も知識も浅いですが、日々利用者の方や他の職員の方の支えがあり、今があるのだと思っています。この職場でさらに学び、経験を積んでいき、利用者の方が毎日笑顔でいられるような生活を提供し、今度は自分が利用者の方を支えられるような支援者となれるよう今後も精一杯頑張っていきたいと思います。



きたみ学園
谷口 なな

学校を卒業し、専ら高齢者施設で介護の仕事をしてきた私にとって、「障がい」という分野は未だ領域であり、これからどのような出来事が待ち受けているのかという期待と不安が入り混じる中で、始業式を迎えたことを思い出します。

あれから半年。利用者の方々の「元気」に、良い意味で驚かれる日々が続いております。当法人に勤務するまでは言いました、「元気」と言つても、大半が車椅子や歩行器を使用し、日常生活に何つかの介助をする状態の方が殆どでした。しかしながら、ここでは喜びや若者男女を問わず、晴れていれば外に出て散歩をし、雨が降っても体育館で運動するなど元気の質が違つことに気付かされています。利用の方々と一緒にドライブや旅行に行き、楽しみが共に出来ることが活動の幅の広さを感じさせます。私の中で支援の醍醐味ともなっています。

障がいで人は「介護」と表現し、高齢者では「介護」と表現されることが多いどちらも手伝うという補完的な意味合いに相違ありませんが、直接的に日常生活に介助をする場面が多いからではないかがそのような表現の違いに表れてはいるのではないかと最近になり思うようになりました。そして、その表現の違いを生んでいた要因が「元気の質」と「活動の幅」の違いに表れていると思います。

利用者の方々皆さんはに数多くの元気と楽しみを提供していくことを常に心掛け、ひとつの出来事やイベントを本人やご家族と共にしていくような支援をしていきたいと思います。



川東学園
外崎 僕一

川東学園に来て半年が経過しました。「先生、大好きだよ。」「先生、愛しているよ。」と毎日言つて下さる利用者さんや、「今日よろしくお願ひしますね。」といいガツツボーズをして下さる利用者さん、笑顔でおはよう!といつも挨拶して下さる利用者さん、何をするにも「ありがとうございます」と笑顔で言って下さる利用者さん、私の似顔絵をフレゼントして下さった利用者さん等々・・・いつも元気づけられています。職員の皆さんも非常に皆さん暖かく良い方々で感謝しています。川東学園に来てよかつたと毎日感じています。



川東学園
森川 梨花

この度、実母の介護が必要となり十四年住み慣れた東京から帰省しました。社会人として二十五年、営業職一筋であり介護の知識が無く、母の介護を軌に本格的に介護職を学びたいと思いまい、幼少の頃から身近な施設でもあった現職場に入社致しました。この年齢で全く経験の無い介護の世界は本当に不安しか御座いませんが、皆様方のご指導を賜りながら多くを学びたいと思います。そして一人でも多くの利用者に喜んで貰えるよう、支援員として努力いたします。

利用者七名・他職員一名で現在、親豚二八頭・肉豚三三六頭の飼育作業を行っております。

豚さんは綺麗好きでかよわい動物ですので、常に手を掛けてあげなければなりません。出産離乳・出荷まで様々な作業があり年中無休で大変な作業ではありますが、養豚班の利用者みんな協力的でとても頑張ってくれており、本当に有難いです。きっと楽しく今後も利用者と共に頑張って参りたいと思います是非、豚さんに会いに来てください。



むぎわら
澤井 和也

皆様からの
たくさんのご厚情
ありがとうございました。

（映画鑑賞招待）
北見ライオンズクラブ 様

（寄付金）

やさしいとこや スマイル
北見信用金庫南大通支店

支店長

木村

慎一

イトーヨーカドー労働組合
北見支部

川東の里施設整備をすすめる会
会長 竹ヶ原洋子 様

（寄贈品）

（有）小田商店

北見トヨペット株式会社
個人 人 楠 敏博

小西

優子

北見市社会福祉協議会
個人 人 今川 隆太

松下

朗弘

伊藤 隆志 税理士事務所
個人 人 黒川 幸夫

三保

京子

個人 人 天地 三郎

松下

幸夫

様 様 様 様 様 様 様 様

退職・採用職員紹介
（退職） 石田 哲也



全日本司厨士協会
北海道地方本部北見支部の皆様

日本一のコックさん
と一緒に



編集後記

規則正しい生活を心がけましょう。

- ・人ごみを避ける、そういう場合はマスクを着用する
- ・感染したら早めに医療機関を受診する
- ・予防接種を受ける



- ・適度に保つ
- ・部屋の換気を十分にして部屋の温度を
- ・手洗い、うがいを積極的にする
- ・食べ過ぎ、飲み過ぎには注意

冬かぜ・インフルエンザ・感染症胃腸炎の流行する時期になつてきました。
元気に過ごす為の生活習慣を紹介します。

中、体調を崩されていませんでしょうか？外の木々もすっかり紅葉し、朝・晩と冷え込む日が増えてきました。日々の生活を送る中で、今回9月に起きた地震に寄る北海道全域での大停電で改めて電気の大切を思い知らされました。今このことを気に川東の里としても対応策を考えいかねばならないと思っております。季節の変わり目で、利用者の皆様も精神面から体調面不調になる時期でもあります。各事業所職員、利用者の皆様の不安等少しでも軽減できるよう日々精進しております。今後とも、ご家族の皆様のご協力も通して川東の里職員一同支援に当たりますのでよろしくお願い申し上げます。

最後に、風邪予防に手洗い・うがいを行なうよう皆様心掛けましょう！！

編集担当 今川隆太